

## ～リハビリ通信～



今年も作業療法の一環として行っている園芸でジャガイモを植えました。今年は土が硬く、作業も大変でしたが、メンバーがお互いに協力し合い、無事に作業を終えることができました。昨年と同様に美味しいジャガイモができることを今から楽しみにしています。



## お知らせ

- 診療報酬改定が、4月1日から実施されました。改定前と改定後では点数が増減している項目、新設された項目があります。ご不明な点は医事課受付窓口までお問い合わせください。
- 病院スタッフのユニフォームが変更になりました!



リハビリテーション課



看護部(左・中央:看護師 右:看護補助)

## うきうき編集後記

今年の冬は雪が降ったかと思うと、急に暖かくなったりと忙しい天候が続いていたように感じました。春といえば桜の季節ですね。もりのたよりが皆様のお手元に届く頃には桜は満開でしょうか?皆さまはどんな春をお過ごしですか?

精神保健福祉士 長谷川 真美



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町大字和泉 704

TEL:0493-56-3191 / FAX:0493-56-4831

昭友会ホームページ: <http://www.kokoro.or.jp>

## もりのたより

## 『平成22年度へ向けて』

昨年、この「もりのたより」の第8号で院長就任のご挨拶をしてから、あっという間に1年が経過しました。この1年間は、新体制の下で新たなスタートがきられたということもあり、4月の時点では不安もありましたが、職員一人一人がしっかりとその役割を果たすことで、これまで通りの良質な医療・看護を提供できるよう努めてまいりました。

個人的には、病院に就職し僅か2年で院長に就任したということもあり、いきなり大ナタをふるって新たな事を始めるようなことはせず、病院の内部や地域とそこにある病院をじっくり観察し、今後、埼玉森林病院が進むべき方向を模索する1年間でもありました。

そんな中、厚生労働省を中心として行われている、今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会が取りまとめた「精神保健医療福祉の更なる改革に向けて」(平成21年9月24日)において、「入院医療中心から地域医療中心へ」という基本理念を推進し、精神疾患にかかった場合でも質の高い医療、症状・希望等に応じた適切な医療・福祉サービスを受け、地域で安心して自立した生活を継続できる社会を実現することが謳われました。

我々の病院でも、数年前から「脱施設化」「入院から地域生活へ」という理念のもと、長期入院者の退院促進に力を注いで参りました。そして、この目標を達成するために、職員の意識改革や作業療法などを通じての入院患者さんへの動機付け、クリニックでの診療体制・デイケアの強化、訪問看護の積極的導入など、具体的な活動を行ってきました。さらに、多くの方々のご理解ご協力のもと平成21年9月に作業所「ハーモニー」を平成21年10月にグループホーム「森の家」をそれぞれオープンすることができ、実践へ向けての体制づくりも進んで参りました。この「入院医療中心から地域医療中心へ」という基本理念を、幸い多くのご家族にもご賛同いただき、すでに、一定の成果が出てきております。

一方、認知症を中心とした高齢者の精神疾患に関する地域からの入院・診療のご相談や、うつ病の療養目的の入院相談も増えております。

これらのニーズに少しでも多くこたえられるよう、職員一同、努力して参りたいと思っておりますので、平成22年度も何卒よろしく願い申し上げます。